



学校教育目標

西方小学校

- ・なかよく助け合う子
- ・元気で明るい子
- ・よく考え自ら学ぶ子



西方中学校

- ・自主 真剣に学ぶ生徒
- ・敬愛 共に歩む生徒
- ・剛健 活力ある生徒



真名子小学校

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・笑顔はじける元気な子



目指す子ども像

家庭（P連）

とちぎ未来アシストネット

- 【自主（知）】進んで学習に取り組み、自分の考えを表現できる子ども
- 【敬愛（徳）】思いやりの気持ちをもち、互いに協力できる子ども
- 【剛健（体）】心身ともに健康で、目標に向かって努力できる子ども



各発達の段階で身に付けさせたい力（態度）

		確かな学力	豊かな心	健やかな体
中学校	中3 中2	<ol style="list-style-type: none"> ① ねらいを理解し、その解決方法を自分なりに工夫して取り組み、振り返りを次の学習に生かすことができる。 ② 学習課題を把握し、論理的に自分の考えを表現することができる。 ③ 自らの課題に基づいた目標を設定し、計画的継続的に学習に取り組むことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自他を尊重し、誰に対しても思いやりの気持ちをもって行動できる。 ② 客観的な立場から判断し、誰に対しても広い心で接することができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 心身の健康に対する理解を深め、主体的にその保持につとめる。 ② 自ら目標を設定し、計画的かつ継続的に運動することができる。
	中1	<ol style="list-style-type: none"> ① めあてに向かって工夫しながら学習に取り組むことができる。 ② 学習のめあてを理解し、根拠をもとに自分の考えを表現することができる。 ③ 自分の課題や興味を生かした学習に取り組むことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自ら進んで挨拶をしたり、相手の気持ちを考え、友人や年少者に対して思いやりの気持ちをもって接することができる。 ② 相手の気持ちを考え、相手のよさを認め、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 ③ 家族の一員として進んで家の仕事に取り組むことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自己の身体を知り、目標を立てて運動することができる。 ② 自分の生活習慣を振り返り、健康的な生活を送ろうとすることができる。 ③ 栄養バランスや量を考えて食事をするすることができる。
小学校	小6 小5	<ol style="list-style-type: none"> ① めあてに向かって粘り強く学習に取り組むことができる。 ② 友達の意見のよいところや、自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる。 ③ 家庭学習の習慣を身に付け、宿題と自主的な学習に取り組むことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 相手の気持ちを考え、周りの友人にやさしく接することができる。 ② 自分の気持ちや考えを言葉で表現することができる。 ③ 家の人の手伝いをすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 早寝早起きをし、毎日朝ごはんを食べるなど、規則正しい生活を送ることができる。 ② 体育の授業や自らの課題に合った体力作りを進んで行うことができる。 ③ 苦手な食品は自分で食べる量を調整し、事情により食べられない食品はきちんと先生に伝えることができる。
	4年 3年 2年 1年	<ol style="list-style-type: none"> ① めあてに向かって粘り強く学習に取り組むことができる。 ② 友達の意見のよいところや、自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる。 ③ 家庭学習の習慣を身に付け、宿題と自主的な学習に取り組むことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 相手の気持ちを考え、周りの友人にやさしく接することができる。 ② 自分の気持ちや考えを言葉で表現することができる。 ③ 家の人の手伝いをすることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 早寝早起きをし、毎日朝ごはんを食べるなど、規則正しい生活を送ることができる。 ② 体育の授業や自らの課題に合った体力作りを進んで行うことができる。 ③ 苦手な食品は自分で食べる量を調整し、事情により食べられない食品はきちんと先生に伝えることができる。

本年度の取組

にしかた「つなぐ！」プロジェクト

重点目標	① 友達のよいところや、自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる子どもの育成	② 基本的な生活習慣を身に付けた子どもの育成
取組内容 (評価項目)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 確かな学力を育むための授業改善 授業改善を研究の柱とし、確かな学力を育む授業づくりを目指し指導・支援の工夫改善を図る。 ◆ 家庭学習の充実 児童生徒が、自分の決めた目標(時間・量・内容等)に向かって家庭学習に取り組めるように働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 心の教育を踏まえた児童生徒指導 生活のきまりを守り、あいさつや清掃活動をしっかりできるよう指導する。 ◆ 健康課題への適切な対応 生活習慣の改善を家庭に働きかけ、継続的に規則正しい生活習慣を意識させる。メディア視聴、ゲームの時間等を自制させる。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師・児童生徒・保護者によるアンケート調査で、肯定的な回答を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師・児童生徒・保護者によるアンケート調査で、肯定的な回答を80%以上にする。 ● CBTとちまるチェック調査を活用し、メディアの視聴時間(使用)を4月から調査・改善を図り、最終的に視聴時間の1割減を目指す。 ● アウトメディアウィーク内で生活習慣の振り返りをさせ、基本的な生活習慣の習得を80%以上にする。(7月、12月)